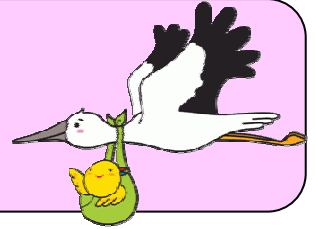


ひょうご 子ども未来通信 4月号



http://web.pref.hyogo.lg.jp/hw08/hw08_00000008.html

新ひょうご子ども未来プランを発表 (3月29日)



県では、平成17年8月に少子対策本部(本部長:知事)を設置以降、同年度末には、「ひょうご子ども未来プラン」(17~21年度)を策定して、総合的・先導的な少子対策に取り組んできました。このたび、少子化を巡る様々な状況の変化に加え、県民の皆様からいただいた様々な提案・意見等も踏まえ、22年度から向こう5年間を計画期間とする「新ひょうご子ども未来プラン」を策定しました。今後、各地域で、このプランを基に少子対策について話し合うリレートークを積極的に開催していきます。

(問)県少子対策課 078-362-4183

1 新プランの理念

子育て支援制度の充実や働き方の見直しによる、子育て支援環境の整備
家庭・地域・職域で共感をもって子どもたちを包む、安心と喜びの子育てを推進
家庭や地域の大切さ、失ってはならないかけがえのないものを次世代につなぐ

2 出生数目標 平成23~27年の5年間

24万人
(年間4.8万人)

3 施策体系

〔6本柱〕

子どもを産み育てる

だれもが安心して妊娠・出産を迎え、子どもはすくすく、親はいきいきと、ともに喜び、ともに成長するための支援を行います。

安心の妊娠・
出産を

親の子育て力
アップと親子の
仲間づくりへ

子どもの成長を支える

保育所・幼稚園や認定こども園、小児医療体制の強化、障害児への支援など、子どもの成長を見守る安心・確実な環境づくりを進めます。

豊かな人間性を育む

さまざまな体験や交流を通じた豊かな人間性づくりや仲間づくり、子どもの悩みなどへの適切なサポートを行います。

若者の自立を支える

就業へのサポートと、出会い・結婚への支援を行い、未来を担う若者の自立を応援します。

子育てと仕事の両立を支援する

男女とも働き方を見直し、子育てと仕事のバランスがとれた環境づくりを推進します。

“良きおせっかい社会”による家庭応援

かけがえのないものを次代につなぐ思いを共有し、“良きおせっかい社会”による安心と協働の子育てを推進します。

〔アクション25(支援項目)〕

- 1 安心のマタニティライフへ
- 2 不妊に悩む夫婦への支援は
- 3 出産直後の支援は
- 4 親子の仲間づくりと子育て相談
- 5 基本的な生活習慣を取り戻す
- 6 親の子育て力アップを応援
- 7 保育所・幼稚園や認定こども園等による子育ての推進を
- 8 地域におけるきめ細かな子育てサービスを
- 9 子どもたちのための安心の医療へ
- 10 障害児への支援は
- 11 子育てを応援する経済的支援は
- 12 学校教育での様々な体験活動は
- 13 地域における体験の場づくりを
- 14 確かな学力の確立や豊かな心の充実へ
- 15 子どもたちの心を支えるシステムは
- 16 若者の就業支援は
- 17 出会い結婚の支援は
- 18 結婚・子育てを支える住まいは
- 19 子育てと仕事が両立できる職場環境づくりへ
- 20 再就業への支援は
- 21 かけがえのないものを次代につなぐ家庭・地域づくりへ
- 22 “地域祖父母”の活躍を
- 23 大切な子どもと家庭を守るソーシャルネットは
- 24 安心のまちづくりは
 - 子どもたちの安全を守る
 - 地域コミュニティの拠点づくりは
 - 安心のユニバーサル社会を
- 25 子育てを大切に社会への協働

詳しくは **ひょうご子ども未来プラン** と **検索**

ひょうご子ども未来フォーラム2010を開催(3月26日)

県は、社会全体による協働の子育て支援を推進するため、同フォーラムを400名の参加のもと、県公館で開催。基調講演では、森茂起・甲南大学教授(新ひょうご子ども未来プラン策定協議会会長)が新ひょうご子ども未来プランを紹介。パネルディスカッションでは、有光穂子・兵庫県経営者協会女性産業人懇話会(VA21)代表幹事から「結婚・出産のために仕事を断念しなくてもよい社会システムの構築が必要」、小崎恭弘・神戸常盤大学短期大学部准教授から「母親一人で子育てをする現状が虐待やノイローゼを生んでおり、父親も育児参加するべき」、小林公正・兵庫県保育協会会長から「子育てを支えている人を支えるしくみが必要」、前川裕司・NPO法人コムサロン21理事長から「企業などを巻き込み、自然に男女が出会える機会を創りたい」などの意見が交わされ、コーディネーターの森教授は「各地域の子育て支援活動の連携はできつつあるが、さらにそのネットワークが広がり、子育ての質が高まることを期待したい」と締めくくりました。



「子育て応援元気アップ賞表彰式」「こうのとりの大使委嘱式」を同時開催



地域の子育て支援活動等に優れた取り組みのあった28団体等への同賞の表彰式と独身男女の出会い・結婚を支援する同大使の委嘱式を併せて開催。井戸知事から「皆さんと連携して子育て環境の整備に力を入れていきたい。一層のご活躍を期待しています」とエールがありました。



(問)県少子対策課 078-362-4232

県と「子育て応援協定」を締結する企業・団体が広がっています

県は、安心して子どもを産み育てられる職場環境づくりや地域の子育て支援活動に取り組む673社・24団体(平成22年度末現在)と同協定を締結。引き続き同協定を締結する企業・団体を募集しています。

(問)県少子対策課 078-362-4184

兵庫県保育協会と協定を締結(3月17日)

締結式では、小林公正・会長(会員 537 施設)と清原・県理事兼少子対策本部事務局長が協定書を交換。小林会長は、女性の再雇用促進に向けての取り組みやひょうご出会い支援事業への参加などを表明。続いて「こうのとりの大使」委嘱式が行われ、代表10名に清原理事から委嘱状が交付されました。



社団法人加古川青年会議所と協定を締結(3月6日)

加古川市立野口南小学校での同会主催行事「未来に響け、新たなハーモニー」のオープニングで小学生や保護者が見守る中、森貴彦・理事長と清原・県理事が協定書を交換するとともに、「まちの寺子屋」看板を授与。森理事長は、地域における子育て支援やひょうご出会い支援事業への積極的な参加を表明しました。



第1回ひょうご仕事と生活のバランス企業表彰を実施(3月1日)

ひょうご仕事と生活センターは、多様な働き方の導入や、仕事と家庭の両立の促進、多様な人材の活用等の「仕事と生活のバランス」推進の先進的な取り組みを実施している企業5社の表彰式を県公館で開催。表彰式後、受賞企業の代表3社による事例発表が行われ、男性労働者の育児参加促進(池田電機株)、自由出勤制度(株エス・アイ)、育児支援金の支給(三ツ星ベルト株)などの取り組みが紹介されました。【受賞企業】池田電機株、(株)エス・アイ、(株)協同病理、三ツ星ベルト株、モロゾフ株



(問)ひょうご仕事と生活センター 078-381-5277

「子育て応援メール」の配信をスタートします（4月20日配信開始）

県では、携帯電話を活用して、子育てに関する様々な情報を配信する「子育て応援メール」の登録者を募集しています。

主な配信内容

- ・子育て相談窓口（しつけ、発達に応じた子育て、子育ての不安や悩み相談先など）
- ・子育て支援制度（こども医療費助成制度、多子世帯保育料軽減事業など）
- ・子育て支援イベント（こどもの館やまちの子育てひろばのイベント情報など）

配信頻度：月3～4回程度

登録方法：右上のQRコードを携帯電話で認識し、記載のメールアドレス(regist@magazine.hyogo-kosodate.jp)メールを送信。返信されるメールに記載のURLにアクセスのうえ、必要な項目を入力し、登録してください。

(問)県少子対策課 078-362-4232



「わくわく親ひろば」フォーラムを開催（3月5日）

県では、親子・三世代が子育てを楽しみながら、共に学ぶ学習会を「わくわく親ひろば」と名づけて、各団体・グループでの開催を支援しており、この取組をさらに広げるためのフォーラムを220名の参加のもと、兵庫県民会館で開催。最初に、地域で親ひろばを普及する親ひろばサポーターの委嘱状の交付が行われ、続く勝木洋子・神戸松蔭女子学院大学教授による基調講演では、親学びや地域との関係を通して子育ての負担を軽くすることを参加者に呼びかけ、最後のパネルディスカッションでは、実践事例の紹介と親ひろばを地域で広げるための提案等について話し合われました。

(問)県男女家庭室 078-362-3169



「アマチュア人形劇コンクール」を開催（3月7日）

県立こどもの館が、児童の健全育成に向けて活動しているアマチュアグループによる同コンクールを開催。姫路市、たつの市や神戸市などから計8グループが参加し、「きつね権現」を演じた「人形劇のジャビジャビ」が、こどもの館賞を受賞。審査員の清水正年氏(人形劇団京芸)と奥村佳子氏(人形劇団クラルテ)からは「これからも人形劇に対する強い思いをもって取り組んでほしい」との激励がありました。



こどもフェスティバルのご案内

月日：5月5日(水・祝)

場所：県立こどもの館

内容など詳細は、次号並びにこどもの館ホームページなどで、今後ご案内します。

(問)県立こどもの館 079-267-1153

県民局レポート ～東播磨県民局～

◆東はりま地域ひろば交流会を開催（3月15日）

東播磨県民局は、80名の参加のもと、地域ぐるみの子育て支援を展開している4つのひろば事業(まちの子育てひろば・子どもの冒険ひろば・若者ゆうゆう広場・わくわく親ひろば)の開設者が、情報交換し、地域に根ざした子育ての大切さや支援の必要性を考える同交流会を加古川市内で開催。「男女共同参画の視点から見た子育て」と題した中村和子・小野市ヒューマンライフグループ 課長による基調講演とともに、あそびに関するワークショップなどが行われ、参加者は楽しみながら子育てについて学ぶことができました。

(問)東播磨県民局 079-421-9102



地域団体・NPO の活動紹介

◆NPO 法人全国認定こども園協会「全国認定こども園トップセミナー神戸大会」(2月27日)



同法人は、全国から認定こども園・保育所・幼稚園の園長など 200 名の参加のもと、同大会を開催。井戸知事は「働く親が安心して社会進出ができるよう子どもを社会全体で育てる必要があるが、その先陣が認定こども園である」と挨拶。内閣府の「認定こども園の在り方に関する検討会」座長の山縣文治・大阪市立大学教授の基調講演や先進事例の発表などが行われ、参加者は、認定こども園に対する理解を深めていました。

(問) NPO 法人全国認定こども園協会 0283-25-4202

◆社団法人全国子ども会連合会「全国読み聞かせリレーション・子どもと大人の読み聞かせパーティーと指導者養成セミナー」(3月21日)



同会は、地域の親子や子ども会の指導者など 81 名の参加のもと、同事業を実施。紙芝居や本の読み聞かせの実演に、子どもたちは物語に引き込まれ、問いかけにも大きな声で答えていました。また、午後からのセミナーでは、指導者を対象に実演研修が行われ、受講者は今後の活動に向け、読み聞かせへの理解を深めました。本物を見る、聞く感動を子どもたちに伝え、豊かな感情や表現力を引き出し、育てるきっかけをつくった 1 日でした。

(問) 兵庫県子ども会連合会 078-221-4081

◆NPO と行政の子育て支援会議「NPO・大学・企業・行政が連携した「子育て支援メッセ」(2月27日)

同会議は、社会全体で子育て支援を進めていく気運を高めるため、神戸市内で同メッセを開催。300 人を超える親子が参加し、NPO や大学、企業などが出展した子育て支援活動を紹介するブースやハーブの体験演奏、人形劇などを楽しみました。また、伊藤篤・神戸大学大学院教授による「みんなで支える子育て支援」と題した講演を元に意見・情報交換を行い、「子育て支援には、人と人とのつながりが大切」などの意見が出されました。



(問) 県少子対策課 078-362-4184

◆らびっと育ちゃん(養父市)「永田萌さんを招いての読み聞かせ」(2月27日)



まちの寺子屋でもある同団体が、永田萌さんを招いて、絵本の読み聞かせを実施。参加した 160 名の親子は、「春の足音」・「水の旅はるか」の絵本 2 作品をスクリーンに映しての読み聞かせを楽しみました。また、子どもたちは目を輝かせながら、半分隠した絵が何かを当てるクイズに答えていました。

(問)らびっと育ちゃん 079-662-7765

◆神戸キワニスクラブ

同クラブは、入院生活を少しでも楽しく過ごせるように子どもたちを癒し、医療関係者と子どもたちとのコミュニケーションを円滑にする特別な人形「キワニスドール」をつくり、病院や施設へ寄贈しています。設立 40 周年を記念し、多くの方にその存在を知っていただくよう、県内各地で「キワニスドールをつくる会」の開催を予定しています。また、併せて、キワニスドールをつくる団体も募集しています(材料は当クラブが用意し、説明に伺います)。詳しくは同クラブ事務局まで。



(問)神戸キワニスクラブ FAX:078-271-7203

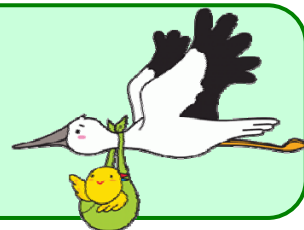
編集部からのお知らせ

「ひょうご子ども未来通信」は、市町、企業、商工会議所・商工会、青年会議所、地域団体・NPO、県関係機関などや希望者に電子メールにより配信しています。新たに配信を希望される方は、下記アドレスに「ひょうご子ども未来通信・配信希望」とご送信ください。

兵庫県少子対策本部事務局(健康福祉部こども局少子対策課) : E-mail:shoshitaisaku@pref.hyogo.lg.jp

ひょうご 子ども未来通信5月号

http://web.pref.hyogo.lg.jp/hw08/hw08_00000008.html



県内の認定こども園 31園に 県が認証式を開催 (3/29)

4月1日付けで、新たに認定こども園となる12施設の認証式が、3月29日、兵庫県庁で行われました。認定こども園は、保育所機能と幼稚園機能、子育て支援の機能を合わせもつ施設で、都市部における待機児童対策や、郡部における子どもの育ちに必要な集団の場づくりが期待されています。



県内の認定こども園は31施設となりましたが、これは東京都、長崎県、北海道に次いで、全国第4位の数です。認証式で、清原兵庫県理事兼少子対策本部事務局長は、「認定こども園の運営を通じて、地域のすべての子どもの健やかな育成環境づくりにご協力を」と呼びかけました。

(問)県児童課 078-362-3215



県内の認定こども園一覧

認定こども園の名称	所在地	認定日	電話番号
五葉幼稚園	神戸市	19.4.1	078(591)0718
近田幼稚園ちかたキッズハウス	神戸市	19.4.1	078(611)1344
名倉幼稚園	神戸市	22.4.1	078(691)0473
杭瀬幼稚園	尼崎市	19.4.1	06(6481)0848
しもさかべ幼稚園	尼崎市	19.4.1	06(6499)1545
めぐみ幼稚園	尼崎市	19.4.1	06(6416)6874
西伊丹幼稚園	伊丹市	19.4.1	072(783)2351
自然幼稚園	宝塚市	19.4.1	0797(86)2281
宝塚市立西谷幼稚園	宝塚市	21.4.1	0797(71)1141
清和台めぐみ幼稚園	川西市	22.4.1	072(799)0317
やよい幼稚園	三田市	19.4.1	079(559)2322
兵庫大学附属加古川幼稚園	加古川市	19.12.1	079(423)0756
せきれい保育園	加古川	22.4.1	078(943)9429
緑が丘幼稚園	三木市	20.4.1	0794(85)7838
はぎ保育園	姫路市	19.4.1	079(264)1175
エンゼル学園幼稚園	姫路市	22.4.1	079(224)1200
つだの森ほうこくこども園	姫路市	22.4.1	079(234)6555
姫路ひまわり保育園	姫路市	22.4.1	079(267)8501
みどり保育園	姫路市	22.4.1	079(262)0336
まあや学園	たつの市	21.4.1	0791(72)4630
朝来市立糸井こども園	朝来市	19.4.1	079(672)3301
朝来市立生野こども園	朝来市	22.4.1	079(672)3301
照福こども園	朝来市	22.4.1	079(676)2347
浜坂認定こども園	新温泉町	21.4.1	0796(82)5620
大庭認定こども園	新温泉町	21.4.1	0796(82)5620
明星認定こども園	新温泉町	21.4.1	0796(82)4831
篠山市立味間認定こども園	篠山市	22.4.1	079(552)1111
認定こども園みつみ	丹波市	22.4.1	0795(77)0091
吉見こども園	丹波市	22.4.1	0795(85)2330
認定こども園さちよ	丹波市	22.4.1	0795(80)4760
三尾の森おおじ	丹波市	22.4.1	0795(75)0321

少子対策・子育て応援 協力協定を更新

大学コンソーシアム
ひょうご神戸と

県内大学生の教育と地域振興への貢献をめざし、県内の45大学・短大が連携して取り組む「大学コンソーシアムひょうご神戸」(理事長：杉原関西学院大学学長)と県が、少子対策及び子育て支援の推進に関する協力協定を更新することになり、その締結式が14日、神戸市内で行われました。

同協定に基づき、県と協働で、地域の子育て支援等について学ぶ「まちの寺子屋師範塾」や「子育て支援に関するシンポジウム」等を実施しているほか、大学を地域の子ども



に開放する「キッズオープンキャンパス」などを実施しています。

(問)県少子対策課
078-362-3215

県看護協会と子育て応援協定締結 延べ673企業25団体に

県看護協会（会長：大森綾子）と県が、子育て応援に関する協定を4月17日に締結しました。同協会の大森会長は、「だれもが安心して子どもを生み育てることができる地域社会の実現に向けて子育て支援を一緒に進めていきたい」と、地域の身近な子育て相談窓口となる、まちの保健室活動の充実や病児・病後児保育に対する新たな支援の実施などを表明されました。

清原理事からは、「まちの保健室事業は、震災後の復興住宅での看護ボランティアによる健康相談からスタートした先導的ですが素晴らしい事業。これからもより一層の活動の充実をお願いしたい。」とのエールが送られました。

(問)県少子対策課 078-362-3215

県看護協会 078-341-0190



「あもしろ事業事典」「あもしろ遊びブック」を作成



県立こどもの館では、親子で楽しむ工作、室内遊び、料理教室や野外活動、季節の行事など、各子育て施設のユニークな活動や楽しい遊びを盛り込んだ「あもしろ遊びブック」を作成しました。



また、「遊ぶ・体験しよう・学ぼう」の視点で、紙工作や演劇、ものづくり指導者養成講座、父親のための子育て応援講座など、子どもの体験活動や地域と家庭の子育て力を高める支援活動に役立つ20の事業を掲載した「あもしろ事業事典」を発行しました。

同冊子は、いずれも県立こどもの館 HP <http://kodomonoyakata.jp/> からダウンロードできます。ぜひご利用ください。

(問)県立こどもの館 079-267-1153

親子で楽しむ料理教室を開催(3/30) 県飲食業生活衛生同業組合

県飲食業生活衛生同業組合（理事長：入江真弘）は、県との子育て応援協定に基づく協働事業として「親子で楽しむ料理教室」を神戸市中央区で開催しました。

小学生の子どもたちが、お父さん、お母さんと一緒に、播州百日どりなど地元食材を使った親子どんぶりや鶏団子スープなどをつくりました。同組合のプロの調理人から料理のこつを教わるなど楽しく調理することができ、そのできばえにみんな満足そうでした。

(問)県少子対策課 078-362-3257

県飲食業生活衛生同業組合 078-391-4210



参加者募集

ひょうごあそびの伝承師養成講座

わらべうたや、お手玉などの伝承あそびについて、各地域で親子などに指導する「ひょうごあそびの伝承師」を養成する講座（受講料無料）を県内3か所で開催します。

○東ひょうご：

- ◇日程：6/7(月) 7/2(金) 9/9(木) 10/5(火)
- ◇場所：尼崎市立すこやかプラザ（尼崎市七松町）

○中ひょうご：

- ◇日程：6/10(木) 7/6(火) 9/10(金) 10/6(水)
- ◇場所：明石市生涯学習センター（明石市東仲ノ町）

○西ひょうご：

- ◇日程：6/9(水) 7/7(水) 8/30(月) 9/27(月)
- ◇場所：県立こどもの館（姫路市太市中）

●申込：5/28(金)までに県立こどもの館へFAXまたは郵送で
(問)県立こどもの館 079-267-1153

ひょうご絵本の伝承師養成講座 神戸会場

絵本作家の永田萌さん、大内曜子さん、黒井健さんを講師に迎え、絵本の読み聞かせ効果の普及・浸透に向け、絵本の選定や読み聞かせの指導を行う「ひょうご絵本の伝承師」を養成する講座（受講料無料）を開催します。

- 日程：7/16(金)～8/27(金)（全6日間、12回）
- 場所：県立男女共同参画センター（神戸市中央区）
- 定員：80人（応募者多数の場合は選考）
- 申込：5/31(月)までに「私の出会った大好きな絵本」をテーマにした作文(400字程度)と氏名、電話番号を記載し郵送（〒650-8567(住所不要) 県少子対策課）またはメール（shoshitaisaku@pref.hyogo.lg.jp）で



※10月より第2期講座を姫路会場で開催します。
(問) 県少子対策課 078-362-4185

22
年度

「まちの寺子屋師範塾」 受講生募集 県内20大学22講座で



県内各地で子育て支援を行うボランティアの裾野を広げるため、大学でさまざまな子育て支援について学ぶ「まちの寺子屋師範塾」。今年度は、5月下旬から12月中旬にかけて、県内20大学で多様なテーマの22講座を開催します。講座修了者には、知事名による「まちの寺子屋師範塾修了証」をお渡しします。ぜひご参加ください。



(問)県少子対策課
078-362-4185

5月・6月に申し込み可能な講座

神戸松蔭女子学院大学

「今日の子育て支援の課題と展開」

男女共同参画社会の子育て支援、子どもが育つ地域生活空間をつくる、迷える父母をサポートする、子どもの環境と食育 など

- ◆開催日：5/29(土)、6/26(土)、7/24(土)
- ◆募集期間：4/24(土)～5/22(土)
- ◆問合せ・申込：078-882-6159
- ◆募集人員：15名(先着順)

芦屋女子短期大学

子育て支援「子どもの豊かな発達のために」

子どもと楽しむ音楽、絵本の世界、異文化理解を通じた子育て支援、保育所と地域協働による子育て支援 など

- ◆開催日：9/18(土)、9/25(土)、10/2(土)
10/9(土)、10/16(土)
- ◆募集期間：5/10(月)～9/4(土)
- ◆問合せ・申込：0797-23-0663
- ◆募集人員：50名(先着順)

近大姫路大学

地域の世代交流が育むこどもの未来

大塩の七夕飾りとゆかたの楽しみ方、絵本の読み聞かせ、世界の子どもの暮らしと父親の子育て観、こどもの虐待予防と家族支援 など

- ◆開催日：7/19(月)、7/26(月)、8/2(月)
8/23(月)、8/30(月)
- ◆募集期間：6/1(火)～6/30(水)
- ◆問合せ・申込：079-247-7301
- ◆募集人員：20組(親子・祖父母と孫など)

園田学園女子大学

そのだ流子育て講座

今どきの子ども事情 -現代の子どもの状況を考える-、学齢期の子どものどう向き合うか、思春期のこころ、思春期とうまくつきあおう など

- ◆開催日：9/29(水)、10/6(水)、10/13(水)
10/20(水)、10/27(水)、
11/10(水)
- ◆募集期間：6/1(火)～
- ◆問合せ・申込：06-6429-9908
- ◆募集人員：30名(先着順)

～地域における少子対策・子育て支援を いっしょに進めていくための意見交換～

「リレートーク」を開催しませんか？

このたび、兵庫県では「新ひょうご子ども未来プラン」(平成22年～26年度)を策定しました。新プランの実現に向け、県では、地域団体・NPO、企業・職域団体、大学、市町等と連携して、少子対策・子育て支援をいっしょに取り組むために意見交換を行う「リレートーク」を開催します。

リレートークの場は・・・

10名程度以上の集まり、子育て支援シンポジウム、講演会など

新ひょうご子ども未来プランをお配りします

県職員が直接県事業をご説明させていただくこともできます。

開催いただくと・・・

当通信での広報や「新ひょうご子ども未来プランプログラム2011」(H23.3策定予定)への反映など、今後の取り組みに活かしていきます。

(問)県少子対策課 078-362-4183

5/5(祝) 県立こどもの館でこどもフェスティバルを開催します!

当日は、親子で参加できるイベントが盛りだくさん! ぜひご参加ください!

- ◆日時: 5月5日(水・祝) 10:00~16:30
- ◆場所: 県立こどもの館(姫路市太市)
- ◆イベント: 5000個の積み木であそぼう、わくわく劇あそび、多世代ふれあい交流サロン、こいのぼりや竹鉄砲などの工作、人形劇団公演(要申込)、段ボールでアート(要申込) など

(問)県立こどもの館 079-267-1153



各種助成金のご案内 ~ぜひご利用ください~

子育て元気アップ活動助成金

地域団体やNPOなどが地域の实情にあわせて取り組む子育て支援事業に対して、経費の一部を助成します。募集は5月10日(月)まで。

- 助成団体数: 50団体程度
- 助成金額: 1団体あたり20万円限度
- 助成対象事業: 親学習などの子育て支援講座の開催、児童虐待防止等のセーフティーネットに関する事業、子育て相談事業、子育て支援イベントの開催等

(問)県少子対策課 078-362-4185

子育てほっとステーション設置助成金

商店街の空き店舗等を活用し、親子がくつろげるたまり場として「子育てほっとステーション」を設置しようとする団体に対し、その整備費・運営費の補助を行います。募集は5月28日(金)まで。

- 対象者: 県内の商店街・小売市場団体、NPO法人等
- 設置場所: 商店街・小売市場の空き店舗、ショッピングセンターの空きスペース
- 補助金額: 1団体あたり150万円を限度

(問)県少子対策課 078-362-4185

地域団体・NPO・企業等の活動紹介

◇ 頑張る企業 ◇

4/18(日) 加古川未来ビジョン会議が 出会いイベントを実施

加古川JCのメンバーが中心となって設立された加古川未来ビジョン会議(代表:上田隆久)は、「ひょうご出会いサポートセンター」の協賛団体として、出会いの場・きっかけづくりのイベントを実施しています。4/18(日)には、カップリングパーティー「Before Spring Festival」を加古川市



内で開催し、参加された皆さんは活発に連絡先の交換をされるなど、大変盛り上がりました。

(問)加古川未来ビジョン会議 090-6204-0886

社内に保育施設を設置し仕事と子育ての両立を支援 有限会社 太郎屋本舗(姫路市)

(代表者:橋本智和 事業内容:飲食業・美容業等)

同社では、社員の仕事と子育ての両立を支援するため、労働時間や休暇の見直しなどに加えて、兵庫県の補助を受け、2か所の事業所内保育施設を設置しました。



施設では保育時間内の子どもたちの心の充実と安全面の徹底に心がけており、社員からは、外部の施設より安価な料金設定で送迎の時間が省けること、子どもが体調を崩した時にはすぐ様子を見に行くことができることなどがとても喜ばれています。

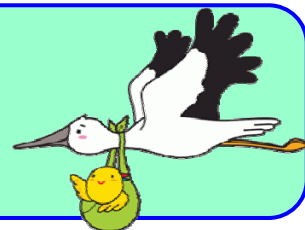
※編集部からのお知らせ

「ひょうご子ども未来通信」は、市町、企業、商工会議所・商工会、青年会議所、地域団体・NPO、県関係機関などや希望者に電子メールにより配信しています。新たに配信を希望される方は、下記アドレスに「ひょうご子ども未来通信・配信希望」とご送信ください。

兵庫県少子対策本部(健康福祉部こども局少子対策課): E-mail:shoshitaisaku@pref.hyogo.lg.jp

ひょうご 子ども未来通信6月号

http://web.pref.hyogo.lg.jp/hw08/hw08_00000008.html



こうのとりの大使1,104人に

独身男女の出会いを支援する「こうのとりの大使」の委嘱式が5月25日神戸市内で開かれました。



今回委嘱を受けた大使は県保育協会から推薦のあった34人で、これで大使の合計は1,104人となりました。

保育協会の総会にあわせて開催された委嘱式では、井戸知事から代表の正覚坊保育園の片山弘文園長に委嘱状が手渡され、「地域での男女の出会い支援活動にぜひご協力をお願いしたい」とのあいさつがありました。

(問)県少子対策課 078-362-4232

認定こども園への移行に向けた研修会に220名(155園)が参加(5/21)

認定こども園への移行を目指す保育所・幼稚園の園長等を対象とした研修会が県庁で開催され、認定こども園制度の概要や具体的な認定申請の手続き等の説明が行われました。

研修会には当初の見込みを大きく上回る約220名が参加し、関係者の認定こども園に対する期待と関心の高さがうかがえました。

清原理事は、「教育・保育ニーズの多様化に対応し、地域の子育てを支援する認定こども園への移行に向けた積極的な取り組みを」と呼びかけました。なお、現在の県内設置数は全国第4位の31園です。

(問)県児童課 078-362-3215



県・市町少子対策
協働会議 (5/10)

県と市町 少子対策関連施策について情報交換 南あわじ市など6市が先導的取り組み事例を発表

県と市町の少子対策・子育て支援関連施策の情報共有を目的とした会議が5月10日神戸市内で開催されました。

今年度は南あわじ市など6市が、出会い・結婚支援、乳児家庭訪問、児童虐待対策、認定こども園、ファミリーサポートセンター、父親の育児参加について取り組み事例を発表したのち、圏域毎に9グループに分かれて討議・情報交換を行いました。



各グループの発表では、加古川市の児童虐待防止の取り組みの一環として実施している学校訪問に関する質問が相次いだほか、認定こども園の更なる推進が必要、ファミリーサポートセンター事業の会員数を充実させ、ニーズに応じていける体制を整えていきたい、出会い結婚支援事業を市が中心となって実施していることは魅力的、父親の育児参加では関心の低い父親にいかんPRしていくかが課題といった意見が出されました。

(問)県少子対策課 078-362-4183



事例発表を行う各市担当者 上段左より南あわじ市、赤穂市、加古川市 下段左より朝来市、川西市、尼崎市

こどもフェスティバルを開催(5/5)

「こどもの日」の5月5日、県立こどもの館で「こどもフェスティバル」が開催されました。

「多世代で感動体験～あそぶ・つくる・かんじる～」をテーマに、5千個の積み木遊びや紙芝居、人形劇、マジックショーなどのほか、高校生などのボランティア15団体による工作体験や化学実験コーナーなど、親子連れら約6千人が楽しみました。

積み木を背の高さまで積み上げては崩して遊んだり、絵の具で好きな色を塗った段ボールで家づくりに取り組むなど、楽しく遊びました。

(問)県立こどもの館 079-267-1153



平成 22 年度児童福祉週間記念事業

「こいのぼりのつどい」を開催(5/8)

5月8日(土)、県内の児童養護施設や乳児院の子どもたち1,300人が県立明石公園に集い、「おーい集まれ!こいのぼりのつどい」が開催されました。

永守こども局参事兼こども安全官から「風をいっぱいを受けて大空を泳ぐこいのぼりのように、いろいろなことにチャレンジしてたくましく成長してください」と子どもたちに励ましの言葉が送られました。

この後、子どもたちによる和太鼓やダンスなどの演技披露、各施設対抗の大縄跳び競争な



どの催しが行われ、子どもたちは五月晴れの1日を思いっきり楽しみました。

(問)県児童課 078-362-3198

親の子育てカアツを応援します!

～「わくわく親ひろば実践事例集」をHPで発信～

県では、親子・三世代が子育てを楽しみながら、親として自信をつけていくなど、共に学ぶ学習会を「わくわく親ひろば」と名付けて、各団体・グループの開催を支援しています。

このたび、平成21年度の親ひろばの実践事例を豊富な写真と参加者の感想を交えて楽しく紹介した実践事例集を作成しました。新たに開設した「わくわく親ひろば」ホームページで提供していますので、ダウンロードして、ぜひご活用下さい。



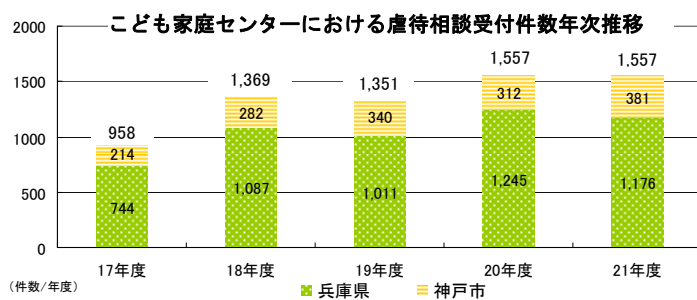
HP: <http://sites.google.com/a/pref.hyogo.lg.jp/oyahiroba/>

(問)県男女家庭室 078-362-3169

21年度 県内児童虐待相談が2年連続1,500件超

県と神戸市が平成21年度に受け付けた児童虐待相談件数は1,577件で、過去最多だった前年度と同数だったことが分かりました。

県では、今後も引き続き新たな人材の配置による児童相談体制の強化、児童委員との連携による虐待防止強化等により、児童虐待防止対策に向けた取り組みを進めていきます。



また、各県こども家庭センター及び神戸市では、児童虐待の連絡や相談を24時間電話で受け付けています。

中央こども家庭センター	078-921-9119
西宮こども家庭センター	0798-74-9119
川西こども家庭センター	072-759-7799
姫路こども家庭センター	079-294-9119
豊岡こども家庭センター	0796-22-9119
神戸市こども家庭センター	078-382-2525
(神戸市児童虐待夜間休日相談)	078-382-1900

(問)県児童課 078-362-3182

参加者募集

男女共同参画週間記念事業「ひょうごフォーラム」

6/24 結婚に何を求める？

(木)

～少子化時代の婚活事情～

「晩婚化」や「未婚化」が急速に進むなか、結婚に対する考え方は多様化し、結婚を取り巻く状況もいろいろと変化しています。



“結婚”に何を求めるのか。「婚活」ということばを世に送り出した家族社会学者の山田昌弘氏(中央大学教授)とともに考えるフォーラムを開催します。

◇日時：平成22年6月24日(木) 13:30～15:30

◇場所：兵庫県公館(神戸市中央区)

◇定員：300人(先着順)(参加費無料)

◇申込・問合せ：県立男女共同参画センター

電話 078-360-8550

6/20 児童育成環境づくりフォーラム

(日)

県民生委員児童委員連合会では、地域における子育て支援活動の進め方や期待される役割など、地域のネットワークによる子育て支援活動の取り組みについて考えるフォーラムを開催します。

当日は、坂田助産院 坂田富貴子氏の講演のほか、地域の子育て支援実践者による事例発表を予定しています。

◇日時：平成22年6月20日(日) 12:30～15:30

◇場所：朝来市和田山ジュピターホール(朝来市)

◇定員：800人(先着順)(参加費無料)

◇申込・問合せ：朝来市民生委員児童委員連合会事務局

電話 079-672-6123

ひょうご仕事と生活センター事業

中小企業の育児休業等の代替要員の確保を支援します

育児休業・介護休業の取得を促進するとともに、休業者が職場復帰しやすい環境を整備するため、育児休業・介護休業取得者の代替要員を新たに確保し、かつ休業取得者が原職等に復帰した場合に、助成金を支給します。

◇対象：常時雇用する従業員数が300人以下の企業の20人以下の県内事業所

◇支給額：代替要員の賃金の1/2(上限100万円、1事業所年間2人まで)

育児等の離職者を再雇用する事業主を支援します

育児、介護等を理由に離職した労働者の再雇用を支援するため、離職した方を元の職場に離職時と同等の地位で再雇用した事業主に助成金を支給します。

◇対象：常時雇用する従業員数が300人以下の事業主

◇支給額：再雇用者1人あたり50万円(1社年間2人まで)(短時間正社員として再雇用した場合25万円)

○改修工事のため一時移転します(平成22年6月～平成23年3月予定)

〒650-0044 神戸市中央区中山手通7丁目28番33号 兵庫県立産業会館2F (TEL番号、FAX番号は変わりません)

まちの寺子屋師範塾 (6・7月申し込み分)

県内各地で子育て支援を行うボランティアの裾野を広げるため、大学でさまざまな子育て支援について学ぶ「まちの寺子屋師範塾」を開催します。

近大姫路大学

地域の世代交流が育むこどもの未来

大塩の七夕飾りとゆかたの楽しみ方、絵本の読み聞かせ、こどもの虐待予防と家族支援 など

◆開催日：7/19、7/26、8/2、8/23、8/30
(いずれも月曜日)

◆募集期間：6/1(火)～6/30(水)
◆問合せ・申込：079-247-7301
◆募集人員：20組(親子・祖父母と孫など)

園田学園女子大学

そのだ流子育て講座

今どきの子ども事情 -現代の子どもの状況を考える-、学齢期の子どもとどう向き合うか など

◆開催日：9/29、10/6、10/13、10/20、10/27、11/10
(いずれも水曜日)

◆募集期間：6/1(火)～
◆問合せ・申込：06-6429-9908
◆募集人員：30名(先着順)

兵庫県立大学

(経済学部[神戸学園都市キャンパス])

国際感覚を育てる
～海外の子育て事情～

心の仕組みと人格形成、各国(イタリア、イギリス、デンマーク、タイ)の子育て事情 など

◆開催日：10/2、10/9、10/16、10/23、10/30
(いずれも土曜日)

◆募集期間：7/1(木)～
◆問合せ・申込：078-794-5184
◆募集人員：30名(先着順)

神戸女子大学

食と子育てを学ぶ

遊びで社会が変わる -遊びあふれるまち-、パンのふくらみとフォーゼンのふくらみの違い、こどもの健康を守るパンの練習 など

◆開催日：9/25、10/2、10/9、10/16、10/23
(いずれも土曜日)

◆募集期間：7/12(月)～
◆問合せ・申込：078-737-2432
◆募集人員：30名(女性のみ)

仕事と生活のバランスに関する取り組みを応援します

「仕事と生活のバランス」を推進していくための相談を受け付け、課題に応じた適切な専門家を派遣します。また、それぞれの職場に応じた研修プログラムを提供します。

<ワンストップ相談>

「仕事と生活のバランス」に関する様々な相談に常駐スタッフがお答えします。来所・電話・E-mail等でご相談ください。

<相談員等派遣>

専門家スタッフを無料で派遣します。

専門家：社会保険労務士、中小企業診断士 等

<研修企画・実施>

企業職場における研修を企画・実施します。

○問い合わせ先 ひょうご仕事と生活センター

兵庫県中央労働センター2F

〒650-0011 神戸市中央区下山手通6丁目3番28号

TEL：078-381-5277 FAX：078-381-5288

各種助成金のご案内 ～ぜひご利用ください～

事業所内保育施設の設置費の一部を助成します

事業所の敷地内や近接地（事業所内設置型）に保育施設（定員3～9人）を設置する事業主に対し、その設置経費の一部を助成します。また本年度から新たに、従業員の通勤経路上の駅前等（駅前等設置型）に保育施設を設置する場合に、その建物の賃料を助成します。

- 事業所内設置型：設置費(上限750万円)を助成
 - 駅前設置型：設置費+家賃分(一括払い、工事契約締結日から5年分、上限250万円)を助成
- (問)県少子対策課 078-362-4186

携帯電話インターネット(親子)学習会の開催を支援します

インターネット上の有害情報等から青少年を守るため、学校や各種団体が実施する、青少年や保護者を対象とした携帯電話・インターネットの安全な利用についての学習会(参加者10名以上)の開催費用の一部を助成します。(助成期間は平成23年2月28日まで)

- 対象：学校、PTA、青少年団体、自治会、子育てグループ等
 - 助成額：上限2万円(講師謝金、講師旅費、会場使用料等)
- (問)(公財)県青少年本部 078-891-7410

地域団体・NPO・企業等の活動紹介

NPO 法人北播磨市民活動支援センター（理事長：柳田吉亮） <http://www.ksks-arche.jp/>

北播磨地域の多種多様な市民活動の自立活性化をサポートする同センターでは、小野市うるおい交流館エクラの託児室を活用した子育て支援事業に取り組んでいます。

その取り組みの一環として、4月18日(日)に開催したアルシェフェスタ in エクラ「あそびのワークショップ」では、親子や祖父母、地域住民など多くの方が参加し、バルーンアートや折り紙、牛乳パック工作などのあそびを通じて多くの方がふれあいました。

また同センターは東・北播磨、但馬、丹波地域におけるNPOと行政の子育て支援会議の運営事業を受託しています。



関西学院子どもセンター開設

子どもの育ちと子育てへの社会貢献、乳幼児保育・教育に関する教育活動に寄与することを目的に、西宮聖和キャンパス山川記念館内に関西学院子どもセンター（センター長：山本伸也）が開設され、5月8日にオープニングイベントが開かれました。

同センターでは、子育て中の親子や子育て支援者が気軽に交流できる場の提供や発達障害児への支援などを行っているほか、これらの活動を通じて教育・保育にたずさわる人材の育成にも取り組んでいます。



おやこのひろば



えほんのへや

(問)関西学院大学広報室 0798-54-6017

◇ 頑張る企業 ◇

株式会社 エクセレントケアシステム(西宮市)

<http://www.excare.co.jp/>

(代表者：大川一則 事業内容：介護事業)

同社では、西宮市に平成22年3月に開設した有料老人ホーム「エクセレント西宮」に、県の補助を受け、施設内保育所「エクセレント西宮キッズ」をオープンしました。

同ホームでは、入居する高齢者と幼児の交流を取り入れた保育がとても好評で、ロビーや談話室は子どもたちと入所者の歓声と笑顔がいつもあふれています。



保育所の設置が就職先決定の決め手になった社員もあり、新たな人材の確保や仕事と子育ての両立に大きな役割を果たしています。

(県と子育て応援協定を締結した企業・団体は673社・25団体です。協定を締結すると、商工中金の貸出金利最大0.3%優遇や県の公共事業入札参加資格評価の点数加算などの支援を受けることができます。)

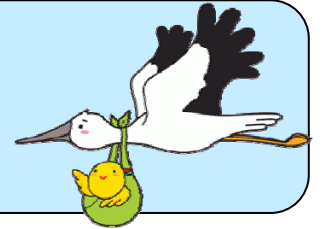
※編集部からのお知らせ

「ひょうご子ども未来通信」は、市町、企業、商工会議所・商工会、青年会議所、地域団体・NPO、県関係機関などや希望者に電子メールにより配信しています。新たに配信を希望される方は、下記アドレスに「ひょうご子ども未来通信・配信希望」とご送信ください。

兵庫県少子対策本部事務局(健康福祉部こども局少子対策課)： E-mail:shoshitaisaku@pref.hyogo.lg.jp

ひょうご

子ども未来通信7月号

http://web.pref.hyogo.lg.jp/hw08/hw08_00000008.html

第2回 こども環境フォーラム(6/26)

子どもたちが環境活動の成果を発表

子どもたちの環境活動の裾野を広げる取組として6月26日に県公館で「第2回兵庫県こども環境フォーラム」が開催されました。

同フォーラムは、平成20年7月に開催されたG8環境大臣会合のサイドイベント「こども



開会あいさつに立つ金澤副知事

環境サミット in KOBE 2008」の成果を継承する取組の一環として開催しているもので、今年は県内の小中学生5グループが「理想のエコタウン」をテーマに、森や河川など自然との共生の実現のため努力すべきことを子どもならではの視点で発表しました。



また県立淡路景観園芸学校の中瀬勲学校長が、生物の多様性や人と自然との共生についての基調講演を行いました。

(問) 県環境政策課 078-362-9895

子どもの生活習慣づくり行動指標の策定に向けた委員会を開催(6/9)

子どもの生活習慣の確立を目的とした行動指標を策定するため、専門家らで構成される委員会が、神戸市内で開催されました。

会議では、伊藤篤・神戸大学大学院教授(同委員会委員長)ほか4名の専門家委員と保育所・幼稚園の代表など9名のプロジェクト委員が、睡眠・食・あそびの3分野における子どもの生活習慣にかかる行動指標の策定、実践に向けた議論を行いました。



伊藤・神戸大学大学院教授

委員からは「指標は生活リズムが乱れている家庭も取り組めるものに」

「実践につながる内容にすべき」などの意見が出されました。

今後、同委員会による会議を重ねるとともに、保育所・幼稚園・小学校でのモデル実施を経て、本年12月頃までに指標を策定し、普及の取組を進めていきます。(問) 県少子対策課 078-362-4232



平成22年度男女共同参画週間記念事業フォーラム(6/24)

「婚活」をテーマに山田昌弘 中央大学教授が講演

6月23日から29日の「男女共同参画週間」にあわせ、県民をはじめ事業者・団体、行政等が一体となって男女共同参画づくりに取り組む契機とするためのフォーラムが県公館で開催されました。

“パラサイトシングル”や“婚活”などの流行語を生んだ家族社会学者の山田昌弘・中央大学教授が「結婚に何を求め



る?～少子化時代の婚活事情～」をテーマに講演しました。

「現代日本の未婚社会到来の背景には、若者の非正規雇用などによる経済格差や、夫は仕事、妻は家庭という伝統的な性別役割分担へのこだわりなどがある」「若者の経済力の安定や、働きながら結婚・出産しやすい環境を整備することで、男女共同参画の大切さに気づき、それが意識変革へとつながり、結果的に婚活への早道となる」「待っていても相手は来ない、まずは積極的な行動が必要」と330名の参加者に力強く語りかけました。

(問) 県立男女共同参画センター078-360-8550

県立いえしま自然体験センター 子ども海辺の環境リポーター事業

同センターでは、小学5・6年生及び中学1年生が、海の生物や海藻、植物など興味深いものをレポートし、学校や家庭での継続した調査・研究を通して環境を学ぶ「子ども海辺の環境リポーター事業」を実施しており、今年度はアドバンスコースに5人の生徒が挑戦しています。

同コースは昨年度にスタンダードコースを修了した生徒が継続して調査・研究する特別課程で、生徒たちは海藻、ヒトデなど各自の研究テーマに取り組んでおり、3月に最終報告を予定しています。



(問) 県立いえしま自然体験センター079-327-1508

育児・介護休業法が改正されました

仕事と子育ての両立支援等を一層進めるため、育児・介護休業法が改正されました。(施行日：平成22年6月30日)

<改正のポイント>

- 3歳までの子を養育する労働者が希望すれば利用できる短時間勤務制度(1日原則6時間)を設けることが事業主の義務になります。
- 3歳までの子を養育する労働者は、請求すれば所定外労働(残業)が免除されます。
- 子の看護休暇の取得可能日数が、小学校就学前の子が1人であれば年5日、2人以上であれば年10日になります。
- 母(父)だけでなく父(母)も育児休業を取得する場合、休業可能期間が1歳2か月に達するまで(2か月分は父(母)のプラス分)に延長されます。
- 配偶者の出産後8週間以内の期間内に、父親が育児休業を取得した場合には、特別な事情がなくても、再度の取得が可能となります。

地域女性団体ネットワーク会議(6/25)

子育て支援や家庭応援の取組について話し合うため、地域の女性団体等(18団体)の代表者による会議が開催されました。

会議では、登下校時の見守りや声かけ、食育事業の開催など、各団体の特色を生かした様々な子育て支援の取組について報告がありました。

また、今後の子育て支援活動への取組について、積極的な意見が交わされました。

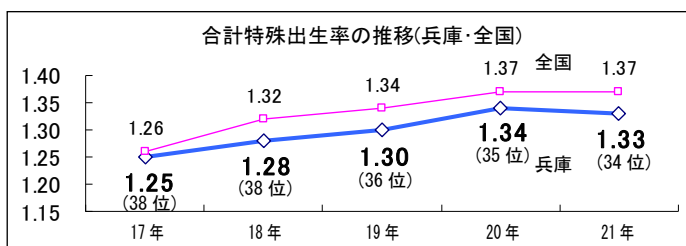
(問) 県少子対策課 078-362-4185



21年 県合計特殊出生率1.33に 全国 34位

厚生労働省が2日発表した資料によると、本県の平成21年の合計特殊出生率は前年とほぼ横ばいの1.33で、全国順位は昨年の35位から34位へ上昇しました。全国の合計特殊出生率は1.37で昨年と同じでした。

21年は、団塊ジュニア世代をはじめとした30代以降の出生率が増加したものの、20代の出生率が減少したため、全体ではほぼ前年並みとなりました。また、平均初婚年齢は男性30.2歳、女性28.6歳と前年からともに上昇し、晩婚化が進んでいることがうかがわれます。



(問) 県少子対策課 078-362-4183

22年版 子ども・子育て白書を公表(内閣府)

内閣府は5月25日、22年版子ども・子育て白書を公表しました。

白書では、少子化対策の現状について「目に見える成果として生活の中で実感できない」、「子育てをする親や子どもなど当事者が希望をかなえられる環境整備、男女ともにワークライフバランスの実現が重要である」と指摘しています。

また、子ども・子育て施策に関するニーズについては、経済的支援の充実や子どもを預かる事業の拡充、育児休業や短時間勤務など働き方の見直しについての要望が高くなっていると分析しています。

ひょうご絵本プロジェクト

ひょうご絵本フォーラム ～絵本がつなぐ心と心～

すぐれた絵本文化を伝承し、ひょうごの未来を担う子どもたちの夢と想像力を育む「ひょうご絵本フォーラム」を県内各地で開催します。

絵本作家の永田萌さん、黒井健さん、大内曜子さんから絵本の魅力や素晴らしさについて、直接お話いただける絶好の機会です。ぜひ、ご参加ください。

◇全県絵本フォーラム（絵本のかえっこバザール同時開催）

- 日時：8/7(土) 13:30～15:30
- 内容：黒井健さんの講演と黒井健さん・永田萌さんの対談
- 場所：兵庫県公館（神戸市中央区）
- 申込：郵便番号、住所、氏名（ふりがな）、電話番号を明記のうえ、はがき、メール、FAXで県少子対策課（〒650-8567（住所不要）、メール：shoshitaisaku@pref.hyogo.lg.jp）（フリーメール不可）までお申込ください。（定員 200 人）

◇地域絵本フォーラム

地域	日時	場所	問合せ
阪神南	7/3(土) 13:30～15:30	尼崎女性センター・トレピエ	阪神南県民局県民協働課 TEL06-6481-4397
阪神北	9/2(木) 13:30～15:00	川西市みつなかホール	阪神北県民局県民協働課 TEL0797-83-3136
東播磨	8/2(月) 13:30～15:30	加古川市民会館	東播磨県民局加古川健康福祉事務所 TEL079-421-9292
北播磨	9/7(火) 10:00～12:00	加西市立善防公民館	北播磨県民局加東健康福祉事務所 TEL0795-42-9355
中播磨	9/29(水) 13:00～15:00	イーグレ姫路	中播磨県民局中播磨健康福祉事務所 TEL079-281-9207
西播磨	7/17(土) 10:30～12:30	龍野経済交流センター	西播磨県民局龍野健康福祉事務所 TEL0791-63-5150
但馬	7/24(土) 13:30～15:30	出石永楽館	但馬県民局豊岡健康福祉事務所 TEL0796-26-3654
丹波	10/2(土) 13:30～16:00	丹波市立中央公民館	丹波県民局丹波健康福祉事務所 TEL0795-73-3754
淡路	9/16(木) 10:00～12:00	洲本市文化体育館	淡路県民局洲本健康福祉事務所 TEL0799-26-2059

第2期 ひょうご絵本の伝承師養成講座 姫路会場

第1期（神戸会場（7/16～））には定員 80 名のところ 431 名から応募があり、抽選で選ばれた 120 名の方に講座を受講していただくことになりました。

第2期は、姫路市の県立こどもの館で、絵本作家の永田萌さん、黒井健さん、大内曜子さんを講師に迎え、絵本の選定や読み聞かせの指導を行う講座（受講料無料）を開講します。

- 日程：10/1(金)～11/12(金)（全5日間、10回）
- 場所：県立こどもの館（姫路市太市中）
- 定員：80人（応募者多数の場合は選考）
- 申込：8/20(金)までに「私の出会った大好きな絵本」をテーマにした作文（400字程度）と氏名、住所、電話番号、年齢、性別を記載し郵送（〒671-2233 姫路市太市中 915-49 県立こどもの館）またはメール（kodomonoyakata@pref.hyogo.lg.jp）で（フリーメール不可）

（問）県立こどもの館 079-267-1153

家庭などで不要になった絵本はありませんか？ 絵本のかえっこバザールを開催します！

古くなった絵本を交換する「絵本のかえっこバザール」を実施します。

【日時】7月24日(土) 25日(日)

8月21日(土) 22日(日)

各日とも 10:00～16:00

その他、県内各地で開催する絵本フォーラムやこどもの館等で開催する予定です。

【場所】県立こどもの館（姫路市太市中）2階展望ロビー

【その他】参加費無料、申込不要

絵本の収集期限は平成 23 年 3 月 31 日まで

まちの寺子屋師範塾（7月に申し込める主な講座）

県内各地で子育て支援を行うボランティアの裾野を広げるため、大学でさまざまな子育て支援について学ぶ「まちの寺子屋師範塾」を開催します。（受講料：無料）

関西福祉大学

乳幼児から思春期までの
子育て支援を巡って

発達障害を抱える子どもの理解と支援、乳幼児の子育て支援、児童期（小学校）の子育て支援 など

◆開催日：7/18(日)、8/20(金)、9/26(日)、10/31(日)

◆募集期間：6/14(月)～

◆問合せ・申込：0791-46-2525

◆募集人員：50名（先着順）

※資料代等別途 1,000円要

神戸夙川学院大学

アートを楽しみながら
観光教育

教育効果のある Educational Tourism、アートによる観光振興事例、六甲ミーツアートでワークショップ など

◆開催日：9/7、9/14、9/21（いずれも火曜日）

◆募集期間：6/14(月)～8/31(火)

◆問合せ・申込：078-940-1154

◆募集人員：40名（先着順）

※入場料等別途要

神戸山手短期大学

子どもと楽しむアート

手作りおもちゃ、心を育てる演劇あそび など

◆開催日：9/4、9/11（いずれも土曜日）

◆募集期間：7/1(木)～

◆問合せ・申込：078-351-7170

◆募集人員：30名（先着順）

姫路獨協大学

遊び体験！

遊びで育む障害のある子どもたち

子どもの育ちと遊び、肢体不自由児の子どもたちへの遊び、発達障害の子どもたちへの遊び など

◆開催日：10/7、10/14、10/21（いずれも木曜日）

◆募集期間：7/21(水)～

◆問合せ・申込：079-223-6593

◆募集人員：20名（先着順）

市町の取り組み

芦屋市 「あい・あいるーむ」

芦屋市では、図書館など公共施設の一部屋を利用し、乳幼児を持つ親子が気楽に集える場所「あい・あいるーむ」を市内4か所で開設しています。

「芦屋に引っ越して来たが、地域のことが分からない」「子育ての相談はどこにすればいいのか」など悩みを抱える若いお母さん達の良き話し相手になればと、主任児童委員と民生委員・児童委員がメンバーを組み、第1～第4水曜日にオープンしています。スタッフには助産師も参加しており、子育てや子どもの健康について相談に応じるなど、大変好評を得ています。

時間はいずれも午前10時～11時半で料金は無料です。ぜひご利用ください。



(問) 芦屋市こども課 0797-38-2045

宍粟市 「ふれあい喫茶 DE 放課後子ども教室」

宍粟市では、放課後子ども教室事業と連携した取り組みとして、21年度より、子どもたちが受付、調理や配膳の手伝い、ゲームの進行など運営の手伝いを通じて、地域の大人たちと交流する「ふれあい喫茶 DE 放課後子ども教室」を実施しています。

“仕事”を任された子どもたちは自分の役割を果たすことで責任感が生まれ、交流するお年寄は子どもたちと接することで笑顔があふれるなど、相乗効果が生まれています。

現在自治会など、40団体がこの事業に協力しており、今後とも協力団体の拡充を図っていきます。



(問) 宍粟市教育委員会社会教育課 0790-63-3117

地域団体・NPO・企業等の活動紹介

国際ソロプチミスト淡路（淡路市）

～親と子のふれあい広場を開催（5月30日）～

国際ソロプチミスト淡路（打越孝子 会長）は、親子が自然の中で楽しいひとときを過ごす「親と子のふれあい広場」を淡路市塩田の淡路ワールドビレッジで開催し、親子約200名が参加しました。

当日は、親子で一緒に「淡路のカレー」づくりに挑戦。淡路たまねぎや淡路ビーフをたっぷり使ったおいしいカレーにみんなで舌鼓を打ちました。また、流しそうめんやガールスカウトによる巨大シャボン玉ゲーム等の他、柳学園生のジャズ演奏や、県立淡路高校生による野点、ぬしま保育園の子ども達によるお遊戯発表など様々なパフォーマンスも行われ、親子そろって楽しい一日を過ごしました。



NPO法人【仕事と子育て】カウンセリングセンター 「“輝く私”神戸RICステーション」を開設

<http://www.shigoto-kosodate.net/ric/index.htm>

NPO法人【仕事と子育て】カウンセリングセンター（坂東真理子 理事長）は、P&G ジャパン株式会社（桐山一憲 代表取締役）と共同で、神戸市東灘区の六甲アイランド内に全国初となる育児休業者・復帰希望者支援のためのカウンセリング・情報提供施設「“輝く私”神戸RICステーション」を開設しました。

ステーションでは、出産・育児期の女性が仕事と子育ての両立に対する不安や悩みなどについて、専門のカウンセラーによるカウンセリングを受けられるほか、仕事と子育ての両立体験者や社員の育児休業取得に積極的な企業の管理職による講演、子育てに役立つ情報提供などを予定しています。

また、自治体からの仕事と子育て情報や、地元企業が提供する生活に役立つ商品情報などを発信していくこととしています。（問）同ステーション 078-857-3223



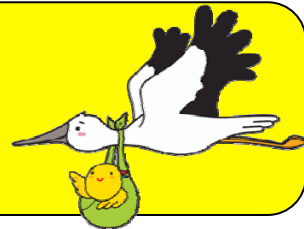
※編集部からのお知らせ

「ひょうご子ども未来通信」は、市町、企業、商工会議所・商工会、青年会議所、地域団体・NPO、県関係機関などや希望者に電子メールにより配信しています。新たに配信を希望される方は、下記アドレスに「ひょうご子ども未来通信・配信希望」とご送信ください。

兵庫県少子対策本部事務局(健康福祉部こども局少子対策課) : E-mail:shoshitaisaku@pref.hyogo.lg.jp

ひょうご

子ども未来通信8月号

http://web.pref.hyogo.lg.jp/hw08/hw08_00000008.html22年度県婦人大会
井戸知事が講演(7/8)

「良きおせっかい社会」の実現に向け協力求める



県連合婦人会は、「地域が育む子どもの未来—今私たちに出来る事『新兵庫の再生へ』」をテーマに、淡路市内で兵庫県

婦人大会を開催、約850人が参加しました。

北野美智子会長は、「親や周りの方に支えられて育ったお返しを、子や孫にしていかなければならない。婦人会の活動を通じて、地域の底力を発揮し、スクラムを組んで子どもたちを守っていきましょう」と挨拶されました。

続いて井戸知事が講演を行い、「安全安心の確立と危機管理の徹底」、「人口減少社会の元気の源を育てる」など4つの柱で新兵庫の再生を目指したいと説明しました。その後、新ひょうご子ども未来プランに基づく県の少子対策にふれ、「施策を展開していくにあたっては、地域団体やNPO、企業・職域団体、大学、市町等との連携が必要」と県政推進への協力を求めました。最後に「地域の元気を生み出すのは女性の



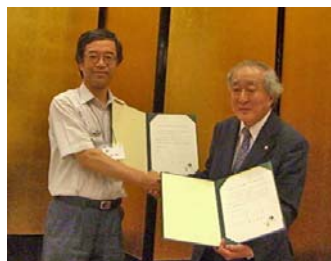
兵庫県連合婦人会 北野会長

知恵と声。良きおせっかい社会を担う地域の主役、橋渡し役として婦人会活動を展開してほしい」と呼びかけました。

(問) 県男女家庭室 078-362-3160

神戸キワニスクラブと子育て応援協定締結

1970年に設立された奉仕活動を行う民間団体「神戸キワニスクラブ」(荒木重典会長)と県が7/28に子育て応援協定を締結しました。



同クラブは、入院中の子どもたちの心のケアにと、会員が手作りした人形「キワニスドール」を県内の病院の小児病棟へ寄贈するとともに、神戸市立図書館に外国絵本1700冊を寄贈するなど、地域における子育て支援に積極的に取り組んでいます。

協定締結にあたり、荒木会長は、県子ども家庭センターにもキワニスドールを贈呈する等子育て支援の一層の推進を表明されました。金澤副知事からは、「子育て支援の新たな取り組みを非常に心強く思っている。これからも、神戸キワニスクラブならではの活動を期待している」とエールがありました。

(問) 県少子対策課 078-362-4184

県医師会と子育て応援協定締結

県医師会と県との子育て応援協定締結式が7/21神戸市内で開催され、川島龍一会長と清原県理事兼少子対策本部事務局長が協定書を交換しました。



川島会長は、「子どもは宝。だれもが安心して子どもを生み育てることができる地域社会の実現に向け、医師会としても取り組んでいきたい」と、県との協働事業である「子どもの病気への対応支援事業」の推進、出産・育児等による女性医師の休職後の職場復帰や再雇用、仕事と子育ての両立支援等の一層の充実を表明されました。

清原理事からは、「医師会の取り組みは、非常に頼もしい。これからも、その専門性を活かした一層の活動の充実をお願いしたい」とあいさつがありました。(問) 県少子対策課 078-362-4184

ひょうご絵本プロジェクト

第1期 ひょうご絵本の伝承師養成講座始まる

7/16 から神戸市内で「第1期ひょうご絵本の伝承師養成講座」がスタートしました。

絵本作家の永田萌さんから、絵本に関する基礎的知識や歴史についての講義が行われ、会場では、興味深く頷いたり、熱心にメモをとる受講生の姿が見られました。



絵本作家の永田萌さん

全県絵本フォーラムを開催します!

- 日時：8/7(土) 13:30~15:30
- 内容：「ごんぎつね」で有名な黒井健さんの講演と黒井健さん・永田萌さんの対談
- 場所：兵庫県公館(神戸市中央区)
- 定員：200人
- 申込：郵便番号、住所、氏名(ふりがな)、電話番号を明記のうえ、はがき、メール、FAXで県少子対策課まで(フリーメール不可)(はがき:〒650-8567(住所不要)
 メール:shoshitaisaku@pref.hyogo.lg.jp
 FAX:078-362-3011)

第2期 養成講座参加者募集中!

第2期は、姫路市の県立こどもの館で、絵本作家の永田萌さん、黒井健さん、大内曜子さんを講師に迎え、絵本の楽しさや魅力を伝えつつ、絵本の選定や読み聞かせの指導を行う講座(受講料無料)を開講します。

- 日程：10/1、10/15、10/29、11/5、11/12(いずれも金曜日)
- 時間：各日 10:45~12:45、13:30~15:30
- 場所：県立こどもの館(姫路市太市中)
- 定員：80人(応募者多数の場合は選考)
- 申込：8/20(金)までに「私の出会った大好きな絵本」をテーマにした作文(400字程度)と住所、氏名、電話番号、年齢、性別を記載し郵送またはメールでこどもの館まで(フリーメール不可)
 (郵送：〒671-2233 姫路市太市中 915-49 県立こどもの館
 メール：kodomonoyakata@pref.hyogo.lg.jp)

(問) 県少子対策課 078-362-4185

(問) 県立こどもの館 079-267-1153

人と防災未来センター

「夏休み防災未来学校2010」開催中

人と防災未来センター(神戸市中央区)では、防災で楽しく遊ぶ「夏休み防災未来学校2010」を8月31日まで同センター西館などで開催しています。



人形劇や地震体験、想いを自由に描く「はじめての絵手紙教室」など、楽しい遊びや実験を通して、防災・減災の知識や知恵に触れる「体験DAY!」をはじめ、古着など身の回りにある材料でサンダルづくりを体験できる「ワークショップ」などを実施します。



このほか、舞子高校環境防災科の生徒が楽しい実験を教える「舞子高校生とトライやる防災!」も行われます。

(問) 人と防災未来センター観覧案内 078-262-5050

子育てほっとステーション設置事業助成団体が決定しました

商店街の空き店舗等を活用し、親子がくつろげるたまり場などの整備を支援する「子育てほっとステーション設置事業」の助成団体が決定しました。今後、県内各地で順次開設されますので、是非ご利用ください。

名称	設置場所
子育てほっとステーション「水道筋」	水道筋商店街(神戸市灘区)
子育てほっとステーション「つくしんぼ」	能勢電鉄畦野駅前商店街内 藤本ビル1F(川西市)
子育てほっとステーション「三田ほんまちプチホール」	三田本町通りセンター街(三田市)
子育てほっとステーション「ひまわり」	西明石南商店街(明石市)
子育てほっとステーション「くざき」	久崎商店街(佐用町)
子育てほっとステーション「伍★環☆館」	佐用商店街内(佐用町)
子育てほっとステーション「パニラシティ」	大開通商店街(豊岡市)
子育てほっとステーション「こうのとりのランド」	サンロード商店街(豊岡市)
子育てほっとステーション「ラビット育ちちゃん」	ショッピングタウンペア(養父市)
子育てほっとステーション「コモード・プラチナプラザ」	コモード56商店街(洲本市)
子育てほっとステーション「親子で南淡 ら・ら・ら♪」	南淡ショッピングセンター(南あわじ市)

(問) 県少子対策課 078-362-4185

「子ども・子育て新システム」 政府が基本制度案要綱を決定(6/29)

政府の少子化社会対策会議（会長：菅総理大臣）は、次世代育成支援のための新たな仕組みである「子ども・子育て新システム」の基本制度案要綱を6/29に決定しました。

同要綱では、幼児教育と保育を共に提供する「こども園(仮称)」の設置や、「子ども・子育て勘定(仮称)」を設け、子育て支援関連の補助金を「子ども・子育て包括交付金(仮称)」に一本化して市町村に交付し、市町村の自由度を高め、より必要な給付を行えるようにすること等が示されています。

政府は23年度に法案を国会に提出し、25年度の施行を目指すこととしていますが、井戸知事が副会長を務める全国知事会では、今後、役割分担や財源問題、一括交付金との関係など、具体的な制度設計を構築するに当たり、地方との十分な協議を行うことを国に求めています。

8/1 から父子家庭のお父さんにも 児童扶養手当が支給されます！

平成22年8月1日から父子家庭のお父さんにも児童扶養手当が支給されます。

受給には市町への申請（認定請求）が必要ですので、該当される方は、平成22年11月30日までに忘れずに手続きをしてください。（11月30日を過ぎると、申請の翌月からの支給になります。）

なお、申請の際には、受給資格者及び該当する子どもの戸籍謄本（抄本）や住民票が必要です。詳しくはお住まいの市町にお問い合わせください。

家族の日写真コンクール作品募集

家族のきずなを深めるきっかけづくりを進める「家族の日」運動の一環として、「家族の日」写真コンクールの作品を募集します。家族で写っている写真であれば、どんな作品でも応募できます。必要事項を記入した所定の応募票を写真裏面に貼付し、郵送してください。県内にお住まいか通勤・通学している方なら、おひとり何点でも応募できます。締切は9月30日必着。



昨年度知事賞受賞作品

(問) 男女家庭室 078-362-3169

参加者募集

夏休みは親子で博物館・美術館へ行こう！

兵庫県内の博物館や美術館では夏休みならではの子ども向けプログラムを数多く開催します。自然観察や工作、実験など夏休みの自由研究にも活かせる楽しい催しがいっぱいです。下記以外にも県内各地の博物館・美術館でさまざまなイベントがあります。詳しくは、兵庫県博物館協会ホームページ(<http://www.hyogo-c.ed.jp/~museum-ac/>)まで。(○:対象、★:参加費、●:申込方法)

県立美術館 (神戸市中央区)

「こどものイベント『夏休みスペシャル』」

8/7 13:30~15:30、8/8 13:30~15:30

美術館のコレクションを楽しみながら、自分たちの作品づくりを。夏休みの工作の宿題になるかも!

○小学3年生~中学3年生 ★500円程度

●要事前申込

県立人と自然の博物館 (三田市)

「昆虫標本づくり実演コーナー2010」

8月中の毎土・日・月 13:00~15:00

標本作りのプロの解説を聞きながら昆虫標本を作ります。

○どなたでも ★要入館料(小中学生は無料)

●自由参加



県立考古博物館 (播磨町)

「夏休み考古学ナゾとき教室」

~8/31 9:30~18:00(入館は17:30まで)

縄文時代のクイズに答えて博物館のオリジナルグッズをゲット。

○どなたでも ★要入館料(小中学生は無料)

●自由参加

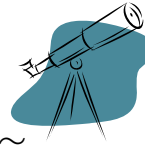
県立西はりま天文台公園 (佐用町)

「昼間の星と太陽の観察会」

~8/31 1回目 13:30~ 2回目 15:30~

60センチ望遠鏡を使って昼間に見える明るい星や、太陽観察用の望遠鏡で太陽を観望します。

○子どもと保護者 ★無料 ●自由参加



まちの寺子屋師範塾

(8月に申し込める主な講座)

神戸親和女子大学

子育てをどう支援するか

子育てをめぐる社会的環境について、子育て支援の実際、子育てを楽しむための音楽活動 など

◆開催日: 9/11、9/25、10/2
10/9、10/23
(いずれも土曜日)

◆募集期間: 7/26(月)~8/31(火)

◆問合せ・申込: 078-591-2934

◆募集人員: 30名(先着順)

※材料費別途要

兵庫県立大学

(応用情報科学研究科)

ICT(情報通信技術)が発展・普及した時代に生きる子供たち -その現状の理解と子育て支援- ICTの普及が子供たちの生活に与えた影響、デジタル革命と学校教育 など

◆開催日: 10/2、10/9、10/16
10/23、10/30
(いずれも土曜日)

◆募集期間: 8/2(月)~

◆問合せ・申込: 078-367-8616

◆募集人員: 20名(先着順)

神戸学院大学

子どもの理解と子育て支援

地域の中の子育て支援を考える、子どもの心の発達を理解する、絵本の中の食育、子どもの個性に寄り添う など

◆開催日: 10/4、10/18、10/25
11/8、11/15、11/22
(いずれも月曜日)

◆募集期間: 8/20(金)~9/10(金)

◆問合せ・申込: 078-974-6105

◆募集人員: 30名(先着順)

兵庫県立大学

(環境人間学部(姫路新在家キャンパス))

今学びたい 食から始める健康生活

若い女性のやせ志向と健康上の課題、ヒトと塩、食文化と人の健康-スローエイジングのための食生活 など

◆開催日: 10/16、10/30、11/6
11/13、11/20
(いずれも土曜日)

◆募集期間: 8/2(月)~9/17(金)

◆問合せ・申込: 079-292-1515

◆募集人員: 20名(先着順)

ひょうご仕事と生活センター事業

**仕事と家庭を両立して働く女性を支援する
事業主に助成金を支給します!**

育児等による離職者を再雇用した事業主に50万円

育児、介護等を理由に離職した労働者の再雇用を支援するため、離職した方を元の職場に離職時と同等の地位で再雇用した事業主に助成金を支給します。

◇対象: 常時雇用する従業員数が300人以下の事業主

◇支給額: 再雇用者1人あたり50万円(1社年間2人まで)
(短時間正社員として再雇用した場合25万円)

育児休業等の代替要員を確保した事業主に最大100万円

育児休業・介護休業の取得を促進するとともに、休業者が職場復帰しやすい環境を整備するため、育児休業・介護休業取得者の代替要員を新たに確保し、かつ休業取得者が原職等に復帰した場合に、助成金を支給します。

◇対象: 常時雇用する従業員数が300人以下の企業の20人以下の県内事業所

◇支給額: 代替要員の賃金の1/2(上限100万円、1事業所年間2人まで)

〇問い合わせ先 ひょうご仕事と生活センター

神戸市中央区中山手通7丁目28番33号 兵庫県立産業会館2F

TEL: 078-381-5277 FAX: 078-381-5288

(中央労働センターが耐震工事のため一時移転中(平成23年3月まで))

地域団体・NPO・企業等の活動紹介

東加古川子育てプラザ園芸クラブ Young Gardener Club



平成21年9月に結成された、加古川市子育てサークル登録団体のひとつ、「Young Gardener Club」(赤水博美代表)は、自宅に庭はないけど、自分たちで花やハーブを育てたい、子どもに虫と触れあう体験をさせたいという思いをもった人が集まってできたサークルで、東加古川子育てプラザの周辺の花のお手入れを行うなど、親子で園芸を通じて、環境や食育を考える活動を行っています。

活動は、未就園児と保護者を対象に、毎月第4火曜日の10:30~11:30に活動しています。興味のある方はぜひご連絡ください。



(問) 東加古川子育てプラザ 079-423-5517

◇ 頑張る企業 ◇

院内に保育施設を設置し仕事と子育ての両立を支援 医療法人回生会 宝塚病院(宝塚市)

(代表者:馬殿芳郎 事業内容:医療業)

同院では、仕事と育児が両立できる職場環境整備の一環として平成21年5月に院内保育施設「すみれ保育園」を開設しました。これにより、出産後に離職する職員が減少したほか、優秀な人材の確保にも繋がっています。現在の施設利用者は新規採用職員5名、出産後復職者1名で、設置の効果が早速現れています。また、園児たちは保育士のもと、工作や季節の行事、遠足等の様々な触れ合いを楽しんでおり、利用する職員にも大変好評です。



(県と子育て応援協定を締結した企業・団体は673社・27団体です。協定を締結すると、商工中金の貸出金利最大0.3%優遇や県の公共事業入札参加資格評価の点数加算などの支援を受けることができます。)

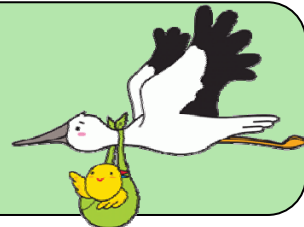
※編集部からのお知らせ

「ひょうご子ども未来通信」は、市町、企業、商工会議所・商工会、青年会議所、地域団体・NPO、県関係機関などや希望者に電子メールにより配信しています。新たに配信を希望される方は、下記アドレスに「ひょうご子ども未来通信・配信希望」とご送信ください。

兵庫県少子対策本部事務局(健康福祉部こども局少子対策課): E-mail:shoshitaisaku@pref.hyogo.lg.jp

ひょうご 子ども未来通信9月号

http://web.pref.hyogo.lg.jp/hw08/hw08_00000008.html



認定こども園シンポジウムに500人が参加

県と全国認定こども園協会の共催によるシンポジウムが県公館で開催され、県内外より500名を超える認定こども園、幼稚園・保育所関係者が参加しました。



藤原内閣府参事官による制度の概要説明、汐見稔幸白梅学園大学学長・東大名誉教授による基調講演に加え、パネルディスカッションでは認定こども園の果たすべき役割や今後の幼保一体化について活発な議論が行われました。

井戸知事は「子どもを『保育に欠ける・欠けない』で分けず、幼児教育と保育を一体的に提供

(問) 県児童課 078-362-3215

することが必要。それができる認定こども園に期待している」と挨拶、会場からは多くの賛同の声が上がっていました。



？ 認定こども園とは・・・

保育所機能と幼稚園機能、地域の子育て支援の機能を併せ持つ施設で、都市部における待機児童対策や、郡部における子どもの育ちに必要な集団の場づくりが期待されています。現在、全国に531園、県内では31園(全国第4位)設置されています。

また、国で検討中の新たな次世代育成支援の仕組みである「子ども・子育て新システム」には、幼稚園・保育所・認定こども園の垣根を取り払い、幼児教育と保育を一体的に提供する「こども園(仮称)」の創設が盛り込まれています。

ファミリーサポートセンター研修会を開催 ～県内27市町26センターの取組を充実～

県内27市町では、会員相互の助け合いにより、子どもの一時的預かりを行う「ファミリーサポートセンター事業」を実施しており、8月2日、センターのアドバイザー等を対象とした研修会が開催されました。

研修会では、運営上の課題等について情報交換を行ったほか、病児・病後児預かりの推進に向け、県看護協会大森会長から「子どもの病気とその対応」と題して講演が行われました。

22年3月末現在、県内の会員数は23,774人、昨年度の年間活動件数は66,650件と多くの方に利用されています。会員登録を希望される方は、右記の各センターまでお問い合わせください。(問) 県少子対策課 078-362-4183

ファミリーサポートセンターでの主な活動内容

- ◇保育所までの送迎
- ◇保育所の開始前や終了後の預かり
- ◇学童保育後や学校の放課後の預かり
- ◇保護者の病気や急用の場合の預かり
- ◇冠婚葬祭やきょうだいの子どもの学校行事の際の預かり
- ◇保護者の短時間、臨時的な仕事の際の預かり など



県内のファミリーサポートセンター

市 町	電 話
神戸市	078-271-5545
尼崎市	06-6489-3067
西宮市	0798-39-1534
芦屋市	0797-25-0521
伊丹市	072-772-4560
宝塚市	0797-85-4535
川西市・猪名川町	072-740-6800
三田市	079-559-8996
明石市	078-915-1277
加古川市	079-424-9933
高砂市	079-442-0555
稲美町	079-492-9090
播磨町	078-944-0717
三木市	0794-82-2395
小野市	0794-63-3611
加西市	0790-42-0111
加東市	0795-43-0444
姫路市	079-223-5638
神河町	0790-34-0962
相生市	0791-23-0155
たつの市	0791-63-5106
赤穂市	0791-42-4011
宍粟市	0790-72-2100
佐用町	0790-82-0341
篠山市	079-590-1388
丹波市	0795-70-2244

絵本作家の黒井健さんが講演

県では、絵本の読み聞かせ活動を推進し、子どもたちの夢と想像力を育もうと「ひょうご絵本プロジェクト」を展開しています。その一環として、8月7日、兵庫県公館で全県フォーラムが開かれ、子育て支援者など約300人が参加しました。

絵本作家の黒井健さんが「絵本がつなぐ心と心」と題し、絵本作家になった経緯や「ごんぎつね」「猫の事務所」等の作品づくりにまつわるエピソードについて講演したほか、黒井健さんと絵本作家の永田萌さんが対談を行い、絵本の魅力について語り合いました。



(問) 県少子対策課 078-362-4185

県内高校生55人が県庁で就業体験

高校生が県庁の職務を体験し、将来の職業や進路などについて考える、「県庁インターンシップ」(8月23日～27日)が実施され、県立高校生55名が参加しました。

大西孝教育長からは、「このような経験は日頃できないこと。“気づき”を大切に5日間楽しんでほしい」とエールがありました。

播磨南高校2年生の長谷川瞳さんは少子対策課に配属され、電話対応や関係事業のデータ取りまとめなどを行い、「普段できないすばらしい体験ができた。これから将来についてしっかり考えていきたい」と感想を話していました。



播磨南高校2年の長谷川瞳さん(左)

(問) 県高校教育課 078-362-9444

子育てほっとステーション活動報告会

商店街の空き店舗等を活用し、親子がくつろげるたまり場などの整備を県が支援する「子育てほっとステーション設置事業」の活動報告会が8月23日に開催されました。

清原兵庫県理事兼少子対策本部事務局長から「少子対策は最重要課題。親子だけでなく様々な人々が集う子育て支援拠点となるよう頑張ってもらいたい」とあいさつがあり、その後、昨年度補助を受けた12の団体から、活動状況の報告がありました。

姫路市網干一番街商店街の谷口道和さんからは、築308年の古民家を整備し、そこで様々な体験活動や集団学習などを実施している事例が報告され、「親子が集う地域の子育ての拠点として今



後も活動を充実させていきたい」と力強く話されていました。

(問) 県少子対策課 078-362-4185

男性育児休業取得率が過去最高に

厚生労働省が7月16日に発表した資料によると、平成21年度の育児休業取得率は、女性85.6%、男性1.72%で、昨年度に比べ女性は5.0ポイント低下する一方、男性は0.49ポイント上昇し、過去最高となりました。

女性の取得率の低下は平成8年度以降初めてで、同省では「経済悪化による所得減を懸念し、小規模事業所などで育休を取らない女性が増えた可能性がある」と分析しています。また、過去最高となった男性の取得率については「国の掲げる目標値とは未だ大きな開きがあり、さらなる推進が必要」としています。

育児休業取得率の推移



「SOS キャッチの徹底」を緊急呼びかけ

大阪市内で起こった幼児2人の虐待遺棄事件などを受けて、兵庫県地域女性団体ネットワーク会議「子育て応援ネット」(18団体)では、子どもの安全を守るための地域の取り組みを一層進めるため、会員に対して下記のとおり緊急呼びかけを行っています。

『子どもは地域の宝です。地域ぐるみで守りましょう。』

1 子育て家庭のSOSを見逃さずキャッチしよう

子育て家庭が発する気になるSOSをキャッチしたら、匿名で結構ですので、すぐに市町児童家庭相談窓口やこども家庭センターなどの専門機関に連絡しましょう。



<児童虐待防止24時間ホットライン>

- 中央こども家庭センター 078(921)9119
- 西宮こども家庭センター 0798(74)9119
- 川西こども家庭センター 072(759)7799
- 姫路こども家庭センター 079(294)9119
- 豊岡こども家庭センター 0796(22)9119
- 神戸市こども家庭センター 078(382)2525
(神戸市夜間休日相談 078(382)1900)

2 日常的なあいさつ・声かけをしよう

子どもたちや出会った人へのあいさつを励行することで、子どもたちの様子を見守り、地域の連携を強め、また不審者に対する抑止力を高めましょう。

3 一人ひとりが子どもを守る意識を持とう

「地域の子どもは地域で守る」という意識を持って、子どもを守るために登下校時にあわせて散歩や買い物をするなど、一人ひとりができることから取り組みましょう。

(問) 県少子対策課 078-362-4185

52年ぶり新作の鬼太郎紙芝居にみんなにっこり

夏休み特別企画として、家族で紙芝居や絵本を楽しむ催しが、8月11日、県立男女共同参画センターで開催されました。



「ゲゲゲの女房」でもおなじみの水木しげる氏の52年ぶりの新作紙芝居「鬼太郎対カラス天狗」と、同氏の兵庫区水木通時代を描いた紙芝居の2本を関西初上演。太鼓を鳴らしての熱演に参加者約250名が歓声を上げていました。

(問) 県立男女共同参画センター078-360-8550

「ひょうご出会い支援事業ネットワーク」交流会を開催

出会い・結婚支援事業を行う市町等とひょうご出会いサポートセンターで構成する同ネットワーク(30団体が加盟)の交流会が開催され、各団体から特色ある事業が発表されました。

顧問の野々山久也甲南大学教授からは、「団体によって課題は様々だが、それらを広域的に互換することにネットワークの意義がある」とのコメントがありました。



ひょうご出会い支援事業とネットワーク加盟団体の事業により、現在、147組のカップルが成婚されています。

(問) ひょうご出会いサポートセンター 078-891-7415
(兵庫県青少年本部内)

参加者募集

まちの寺子屋師範塾 (9月に申し込める主な講座)

県内各地で子育て支援を行うボランティアの裾野を広げるため、大学でさまざまな子育て支援について学ぶ「まちの寺子屋師範塾」を開催します。(受講料：無料)

甲南大学

「子育て・家族支援者」養成講座

少子化社会日本の子育て、お父さんに望むこと、子ども虐待と子育て支援など

- ◆開催日：10/9、10/16、10/23、10/30、11/6
(いずれも土曜日)
- ◆募集期間：7/26(月)~9/24(金)
- ◆問合せ・申込：078-435-2276
- ◆募集人員：40名(先着順)

関西学院大学

アニメと子ども

ジャパंकールとしてのアニメ、アニメと仲間コミュニケーション、アニメの教育効果…ジブリ作品を例として など

- ◆開催日：10/9、10/16、10/23、10/30、11/6
(いずれも土曜日)
- ◆募集期間：7/26(月)~9/24(金)
- ◆問合せ・申込：0798-54-6890
- ◆募集人員：30名(先着順)

神戸女学院大学

子どもの教育のいま

子どもたちと我が国の未来、子どもと英語教育、現代若者論、子どもと環境教育 など

- ◆開催日：10/19(火)、10/20(水)、10/26(火)、10/27(水)、11/2(火)
- ◆募集期間：9/1(水)~9/30(木)
- ◆問合せ・申込：0798-51-8536
- ◆募集人員：20名(先着順)

神戸大学

ひろば(地域子育て支援拠点事業)における子育て支援を考える

ひろば運営のこれまでとこれから、ひろばにおける子育て相談、発達障害の相談と対応 など

- ◆開催日：10/23(土)、10/24(日)
- ◆募集期間：9/6(月)~10/8(金)
- ◆問合せ・申込：078-803-7970
- ◆募集人員：50名(先着順)

新婚・子育て世帯優先の県営住宅の入居者募集

県では、新婚・子育て世帯を対象に、県営住宅に優先入居枠を設定し、住宅確保を支援しています。

募集は毎月末行っていますので、入居を希望される方は下記までお問い合わせください。(以下は8月末分の募集)

- ◇募集期間：平成22年8月30日(月)～9月3日(金)
- ◇募集戸数：新婚子育て世帯向け12戸(県営住宅全体では118戸募集)
- ◇募集要件：夫婦の合計年齢が70才未満で結婚2年以内または13歳未満の子どもがいる世帯(その他収入要件などあり)

(問)兵庫県住宅供給公社 078-232-9585



第4回たじま子どもまつりを開催します！

「みんなあつま～れ！～しおかせ香るまちへ～」をテーマに、楽しいステージイベントや親子体験イベントなどが開催されます。

◇日時：平成22年10月9日(土) 11:00～15:00

◇場所：香美町立香住文化会館

(美方郡香美町香住区香住 100-2)

- ◇内容：和太鼓演奏や伝統芸能などのステージイベント、親子体験コーナー、アトラクション、フリーマーケット等



昨年のステージイベント

(問) たじま「子育て」ネット(但馬県民局県民協働課) 0796-26-3647

地域団体・NPO・企業等の活動紹介

NPO法人 ママの働き方応援隊がシンポジウムを開催(神戸市)

同団体(上野至大 理事長)は、女性が出産後も働き続け社会参加できる社会づくりを目的に今年設立されたNPO法人で、8月21日には「ママの働き方革命シンポジウム」を神戸市内で開催しました。



当日は、NPO法人フローレンスの駒崎弘樹代表による基調講演のほか、男性の長時間労働による女性の家事育児の負担、女性の仕事に対する意識改革などについて、株式会社ジェットクリエイティブ恵夕喜子代表取締役など多彩なパネリストが様々な角度から意見を交換しました。

(問) ママの働き方応援隊 078-862-1196

子育てサークル やんちゃんこが20周年に(尼崎市)

8月7日(土)、尼崎市内で、子育てサークル「やんちゃんこ」の20周年記念同窓会が開催されました。

「やんちゃんこ」は、平成3年、元小学校教諭の濱田英世さんら5人のお母さんが、「ノリのいい子を育てたい」そんな思いで、やんちゃん子を育てようと立ち上げた団体で、この日の同窓会は、現役会員の親子をはじめ、成人した「やんちゃんこ」卒業生ら約100名が参加。

スクリーンに大写真にされた懐かしい写真と、代表の濱田さんが語る数々の思い出話に、参加者全員が同時に思いを寄せ、楽しい語らいが続きました。また、白井尼崎市長や中西阪神南県民局長も駆けつけ、日頃

の子育て支援活動を讃える祝辞を述べました。

「やんちゃんこ」は、現在、サークル卒業生もスタッフとして参画、さらにその子どもたちも加わり、三世代で子育て支援に関わるなど、活動の輪が広がり、尼崎だけでなく阪神間の子育てを応援する人たちをリードする活動を続けています。

(問) やんちゃんこ 06-6421-8841



子育て支援グループ キララが子育て元気アップ活動助成を活用した事業を展開(三田市)

三田市主催の保育サポーター養成講座修了生の仲間が中心となり、平成13年に発足した子育て支援グループ「キララ」(松野玲子 代表)では、県の「子育て元気アップ活動助成」を活用し、子育て中の親等を対象に、プロのコーチによるエアロビクスを通じて心身ともにリフレッシュする「Enjoy エクササイズ」を実施しています。

エアロビクスでストレスを発散した後は参加者同士が気軽に会話を楽しむ時間も設けられており、交流の輪が広がっています。

参加者からは、「運動中もスタッフが子どもを見てくれるので安心」「同年代の“ママ友”だけではなく、地域・世代を超えたつながりができ、安心感を持って子育てができる」などの声があがっています。

(問) キララ 070-6502-4802



※編集部からのお知らせ

「ひょうご子ども未来通信」は、市町、企業、商工会議所・商工会、青年会議所、地域団体・NPO、県関係機関などや希望者に電子メールにより配信しています。新たに配信を希望される方は、下記アドレスに「ひょうご子ども未来通信・配信希望」とご送信ください。

兵庫県少子対策本部事務局(健康福祉部こども局少子対策課) : E-mail:shoshitaisaku@pref.hyogo.lg.jp